

# 周防灘上関原発予定地・奇跡の海に迫る埋め立ての危機

上関要望書アフターケア委員会+長島の自然を守る会



瀬戸内海の生物多様性ホットスポットと、迫りつつある危機

瀬戸内海ではごく稀なスギモク群落 新井章吾撮影

## 着々と進む「環境配慮」の偽装と実質的破壊



天然記念物 山口県絶滅危惧ⅠA

- 2008. 4. 14 最高裁で共有地訴訟原告敗訴 共有権の時効消滅は認めず
- 2008. 10. 21 山口県知事二井関成 公有水面埋め立て免許を中国電力に交付
- 2008. 12. 24 山口県知事二井関成 原発予定地の林地開発を中国電力に許可
- 2009. 2. 26 中国電力 詳細調査終了を発表 平成27年度一号機運転を目指す
- 2009. 3. 11 中国電力 ウミスズメ類の調査に並行し「鳥たちに影響が少ない範囲で」埋め立て工事を始めると発言



環境省絶滅危惧ⅠA

木村路子撮影 上=カムリウミスズメ 中=同産毛の幼鳥 下=埋め立て予定地のウミスズメ

### 失ったら二度と戻らない希少生物の宝庫

公有水面埋立は瀬戸内海に奇跡的に残された生態系とそこに生息するすべての生き物を永久に死滅させます。人類にとって計り知れない損失です。

ナメクラゲ (水母) 世界的に希少な貝  
フシムシ (水母) 希少な水生生物  
スズメ (鳥) 希少な鳥類

### 埋立予定地に咲いたスギモクの金色のお花畑

今年スギモクの生育が去年より悪く、スギモクの丈が短く、生殖器床の大きさも小さく1本の茎につき数も減っています。個体群も減少していました。

### 希少生物を育む田ノ浦の淡水生態系

天然の濾過装置として機能する特殊な地理構造

湧水量: 1日あたり降雨量に換算すると700リットル。豊富な湧水による瀬戸内海で稀に見る水循環のよさが貴重な生態系を生んでいることが明らかになった。

## 2008 祝島の歴史が四年に一度、祝島に舞い降りる。

祝島おんまい

- 平成20年8月16日~20日 人船神事
- 8月17日 岩戸神楽
- 8月17日 祈禱神楽
- 8月18日 夜戸神楽
- 8月20日 出船神事

祝島区・祝島神社連合会 (主催) 上関市・上関町教育委員会 (協賛)

### 参加してみませんか？

2008. 4~ 「長島の自然を守る会」の約20回の現地調査に市民と生態学会会員が参加 (旅費などの支援あります)

2008. 5. 25. 「周防の生命圏——里地・里海を考える」シンポ (祝島) 日本生態学会中国四国地区会共催

2008. 6. 30 希少鳥類への影響評価に関する要望書 自然保護専門委員会

2008. 9. 13 日本鳥学会 カムリウミスズメの保護と上関アセスのやり直しを要望

2008. 10. 18 「やまぐちの天然記念物——鳥とともに生きる」シンポ (山口市) 中国四国地区会後援

2008. 12. 2 上関自然の権利訴訟始まる 「応援する研究者の会」も発足



きわめて透明度の高い田ノ浦 新井章吾撮影

祝島の原発反対の歴史は25年

詳しい情報は<http://ankei.jp>で「上関」を検索。メールはy@ankei.jpまで